

とっておきの情報をあなたにお届け
「いやども下妻」



下妻市公式フェイスブック「いやどうも下妻」では、市民や下妻にゆかりがある人、愛着を持つ人たちが市職員と協働し、市の魅力ある情報を写真や動画でお届けします。

市民投稿者 募集中

下妻の魅力を一緒に発信してみませんか？

<https://www.facebook.com/iyadoumo.shimotsuma>

緊急災害時には、市ホームページ、市公式ツイッターと市公式フェイスブック「いやどうも下妻」と合せて、防災無線の放送内容などを「文字情報」としてタイムリーに発信します。

問 秘書課 ☎43-2112 FAX43-1960

受 章 者 紹 介



旭日単光章
(高齢者叙勲)

小島 武夫さん

元千代川村議会議員

(88歳・鯨)

昭和58年11月、地域住民から推されて千代川村議会議員に立候補し当選、平成7年11月までの間、3期12年にわたり在職し、村議会議員として住民福祉の向上に努められました。

また、平成3年11月から平成5年12月まで副議長を務め、議会運営に尽力され、下妻市・千代川村・八千代町火葬場組合議会議員、下妻地方広域事務組合議会議員として、広域圏の地域住民の公衆衛生対策、環境施設の整備促進など、市民生活の衛生環境整備に尽力されました。「この度の受賞に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。」

温かい善意ありがとうございます

下妻市千代川ライオンズクラブより寄付



左から柴副会長、山中会長、鈴木生徒会長、片倉校長

5月29日、下妻千代川ライオンズクラブ（山中会長）から千代川中学校へ「学習に役立ててほしい」とタブレット端末4台とWifiスポット1基を寄付いただきました。

生徒会長の鈴木優作さん(3年)は「いろんなことを調べて、勉強に役立てたい」と生徒を代表してタブレットなどを受け取りました。

下妻市アマチュアゴルフ連盟より寄付



左から根本副会長、栗原会長、稲葉市長、小林副会長

市は5月29日、下妻市アマチュアゴルフ連盟（栗原茂雄会長）から「市のスポーツ振興に役立ててほしい」と102,184円の寄付をいただきました。

この寄付金は、アジア下館カントリー倶楽部で5月23日、同連盟主催による「下妻市民ゴルフ大会」の参加者233人から寄せられたチャリティー募金によるものです。

有料広告欄

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
「社会を明るくする運動」にご協力を

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～は、平成29年度で67回を迎えました。

第67回「社会を明るくする運動」の重点事項は、「犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる社会にする」とこととされています。

6月15日、下妻市保護司会（栗野会長・諸井副会長）の2人が、社会を明るくする運動・内閣総理大臣のメッセージを読み上げ、稲葉市長に伝達を行いました。

市では推進委員会を設置し、「更生保護の日」である7月1日からの1か月の強調月間に、市内各地で街頭キャンペーンや中学校でのあいさつ運動を実施するなど、幅広い人々に対して、本運動と更生保護の取り組みに対す

る理解と協力を呼びかけ、地域における支援の輪の拡大を目指していきます。



稲葉市長に内閣総理大臣のメッセージを伝える栗野会長(中)と諸井副会長(左)

きれいで住みよいまちに
「第36回市民清掃デー」実施



国道沿いを清掃する地域住民(長塚地区)

6月4日、市内全域で「市民清掃デー」を実施しました。今年も自治会などを中心に朝早くから約7,700人が参加しました。

地元の道路や河川、公園などの公共の場所で行われた環境美化活動により、可燃ごみ約810kg、不燃ごみ約570kg回収されました。

これからも、きれいなまちづくりの推進にご協力をお願いします。

市内の介護保険施設と災害発生時における
福祉避難所の設置運営に関する協定締結

市内の介護保険施設(7施設)と下妻市は5月25日、災害時の避難所生活において特別な配慮を要する要配慮者を対象とした福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました。

市では、これまで下妻特別支援学校と同協定を締結していますが、今回の協定締結により7施設の追加拡充を行うものです。

協定書を取り交わした稲葉市長は「本日の協定を契機に、皆さまの施設を市の福祉避難所として指定させていただき、不測の事態に備える体制をより強化していきたいと考えており、非常に心強いです」と協定締結を喜び、各施設の代表者と協定書を取り交わしまし



協定書を取り交わした稲葉市長と各施設の代表者

有料広告欄